

学校名 香里ヌヴェール学院中学校
 学年 三年一組
 氏名 辻本雅登

題名 税の教育

僕は税金について不満がありません。正確には、義務教育における税金についての教育の
 不十分さについてです。みなさん、納税が日
 本国民の義務であることはご存知だと思います
 すが、果たして納税の仕方や払わなければならない
 税金、納税する際などの細かいルール
 はいつ、どこで覚えたのでしょうか。僕は本来
 このような税金、特に納税に関する教育は実
 際に納税ができる段階までの知識を義務教育

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

の九年間で教育されるべきだと思います。
 日本では中学校を卒業した時点で就職の道を
 選択することかでき、就職せずにアルバイト
 をしたとしても、年収が百三万円を超えた時
 点から納税の義務が発生します。ただ、納税
 は期限が迫付くと誰かから教えられるわけで
 もなく、社会に出たからといって誰かから細
 かいルールを教わるわけでもありません。確
 かに義務教育で税金のことは学びます。です
 が、教わる内容は、税金の種類や、税金の

中学生の「税についての作文」原稿用紙

作品番号	1	2	3	4	合計
887					1732

使い道」など、これも義務的であり僕には表面的な教育であるように感じてしまっているのです。もちろん税金に興味を持ってもううことか重要なことだといふのもわかります。ですから今の義務教育を本当に必要なのは「税金の種類を多く覚えること」や「税金の歴史を覚えること」ではなく、「いざ社会に出たときに納税の義務を果たせるように」する教育なのではないか、そこを学習して初めて次のステップである「税金に興味を持つ」ことの必要性

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

か出てくるのでは無いでしょうか。実際に○○○「納税方法」や「税金払い方」わからない」などを検索してみてください。参考になりそうな記事がたくさん出てきますよね。これによってその情報に多くの需要があることかわかります。日本国民の義務なのだからその情報に需要があるのは当然だろう。という意見が予想されるので、同じく日本国民の義務である勤労の義務について調べこみましよう。「勤労義務違反」など

で調べてみると、納税の義務の時と比べて換
 算とソノ数が明らかに少ないことがお分かり
 いただけましたでしょうか。国から教えはし
 ないが払ってもらうのではないとそれ相反の処置は
 とる。僕はここに違和感を覚えたのです。僕
 は今回、税金についてさまざまなことを調べ
 る中で、税金に興味が湧きました。税金とい
 うのはただ国から搾取されているものなとて
 はないということ。日本だけはなく他国の税
 金の使い方も見たうえで感じた税金というも

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

のの可能性などを。税金に関して深く理解
 したなとは言いません。ですが調べたこ
 とで得たものは確実にあったと思います。こ
 すかこれは二つ目のステップです。ことであ
 り、実際、今、納税の方法について聞かれて
 も答えられない部分も多々あると思います。
 だからこそ義務教育でし、かり一つ目のステ
 ップである、そもそもこの部分を学び、その
 上で興味を持つた時にも、と深い学習が必
 ずすることを願っています。